

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・満期保有目的の債券…償却原価法（定額法）
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・有形固定資産
什器備品…定額法
- (3) 消費税等の会計処理
 - 消費税等の会計処理…税込方式

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
小計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
志野基金	9,150,336	0	800,000	8,350,336
三上基金	32,383,685	49,976	1,370,000	31,063,661
奨学生基金	105,705,039	25,614,400	39,769,246	91,550,193
長村基金	2,335,467	0	0	2,335,467
中川基金	18,690,529	0	0	18,690,529
小計	168,265,056	25,664,376	41,939,246	151,990,186
合計	218,265,056	25,664,376	41,939,246	201,990,186

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
小計	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
特定資産				
志野基金	8,350,336	(8,350,336)	(0)	(0)
三上基金	31,063,661	(31,063,661)	(0)	(0)
奨学生基金	91,550,193	(91,550,193)	(0)	(0)
長村基金	2,335,467	(2,335,467)	(0)	(0)
中川基金	18,690,529	(18,690,529)	(0)	(0)
小計	151,990,186	(151,990,186)	(0)	(0)
合計	201,990,186	(201,990,186)	(0)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	208,950	208,949	1

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
三上基金			
平成26年度第1回横浜市「ハマ債5」公募公債	9,999,295	10,000,000	705
平成26年度第1回大阪市みおつくし債	9,999,280	10,000,000	720
合 計	19,998,575	20,000,000	1,425

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
寄附金の目的使用	41,939,246
	41,939,246

7. 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、債券、株式、投資信託により資産運用する。

なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

その他の固定資産の中には、債券があり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。